

2009 年度讃頌会研修会のご案内

親鸞聖人の生涯に学ぶ

中日新聞に連載されていた五木寛之の小説「親鸞」が、親鸞聖人の流罪を目前に終わりました。さあこれからというところで肩透かしを食ったような感じですが、これからどうなるのでしょうか。

さて、讃頌会の研修会も昨年中に親鸞聖人の前半生まで学んできました。今年度はご生涯の後半を学んでゆきたいと思います。

講師は、30組の推進員養成講座の講師をしていただいたこともある、四衢亮先生。最近の歴史研究の成果も取り入れて、聖人の生きられた時代はどんなだったのか、課題とされたものは何だったか、それは現代に生きる私たちにとってどういう意味を持つのか。私たちの身に引き付けてお話してください。みなさま、ぜひご参加ください。

- 日 時 2009年12月8日(火)
2010年1月18日(月) 2月2日(火)
いずれも午後2時から4時
- 会 場 名古屋教務所1階 議事堂 (中区橋2-8-55 Tel.052-831-5924)
地下鉄名城線「東別院」4番出口西へ徒歩3分
- 講 師 四衢 亮 (高山教区 不遠寺住職)
- 参加費 1000円

親鸞聖人750回御遠忌30組プレ大会 (予告)

テーマ 「後生の一大事」

—映画「おくりびと」と「納棺夫日記」のかはりめ—

■講 師 青木 新門 氏

■日 時 2010年5月23日(日) 午後2時～5時